

建設マスター受賞者422人を決定 10月5日に顕彰式典で国交相が授与

国土交通省は9月28日、平成30年度の「優秀施工者国土交通大臣顕彰」（建設マスター）の受賞者について、優秀施工者として422人を決定したと発表しました。平成30年度の受賞者のうち、女性技能者は5人となっています。一方、平成27年度に創設された「青年優秀施工者土地・建設産業局長顕彰」（建設ジュニアマスター）については、平成30年度の青年優秀施工者として101人を顕彰しました。そのうち、女性技能者は4人が選ばれました。平成30年度の顕彰式典は10月5日午後、東京都港区のメルパルクホールで開催されました。

（9ページに内発協推薦の受賞者一覧）



平成30年度の優秀施工者国土交通大臣顕彰式典の会場

優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター）は、平成4年度より毎年実施しています。建設現場での直接施工の実務経験年数が20年以上で、優秀な技能・技術を持ち、後進の指導・育成などにも多大な貢献をされている建設技能者の方々を対象として、選ばれています。建設産業の第一線で活躍する、ものづくりに従事する人たちの社会的地位・評価の向上を図ることを目的として実施しています。

27回目となる平成30年度の顕彰者（422人）を含めた受賞者総数は計10,073人となります。今回、女性技能者として顕彰を受けた5人の職種は、電気工、塗装工、舗装工、鉄筋工、左官工となっています。

一方、青年優秀施工者土地・建設産業局長顕彰（建

設ジュニアマスター）は、平成27年度より実施しています。建設マスターに到達するまでの技能の向上の動機付け（インセンティブ）を与えることを目的として、実施しています。年齢が39歳以下で、建設現場の実務経験年数が10年以上の技能者を対象として、選ばれています。今後さらなる活躍が期待される青年技能者を顕彰することにより、次世代の建設業界の担い手を確保・育成することに役立てる目的で創設されました。

4回目となる平成30年度の顕彰者（101人）を含めた受賞者総数は計425人となります。

今回、顕彰を受けた女性4人の職種は、造園工、電気通信工、電気工、内装仕上げ工となっています。



右から石井啓一国土交通大臣、野村正史土地・建設産業局長、鈴木英二郎大臣官房審議官



優秀施工者国土交通大臣顕彰式典の来賓の方々

【建設マスター受賞者】



建設マスターの石田匡人氏、(株)辰巳菱機



建設マスターの [redacted] (株)第一テクノ



建設マスターの [redacted] (株)第一テクノ



建設マスターの [redacted] (株)シンワ

【建設ジュニアマスター受賞者】



建設ジュニアマスターの [redacted] (株)第一テクノ



建設ジュニアマスターの [redacted] ヨシダ・テクノ(株)



建設ジュニアマスターの [redacted] (株)ハタノシステム



建設マスターの代表者に顕彰状を授与する
石井啓一国土交通大臣